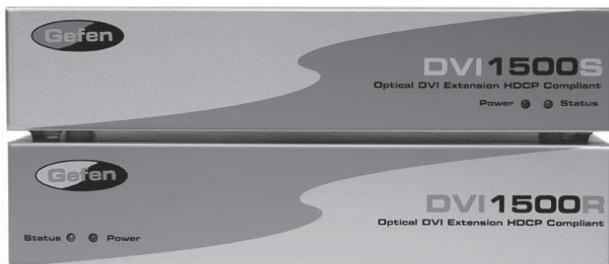
DVI • 1500HD

DVI延長機

型番: EXT-DVI-1500HD

取扱説明書

2010年7月版

安全上の注意

この度はGefen製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告　この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

 注意　この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。
  直射日光の当たる場所/極度の低温または高温の場所/湿気の多い場所/ほこりの多い場所/
  振動の多い場所/風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

目次

修理品発送時のお願い

本製品には、送信機と受信機に同一のシリアルナンバーが割り振られております。
万が一、不具合が発生し修理の依頼などを行う際には、本体裏面に記載されているシリアルナンバーをご確認いただき、シリアルナンバーを揃えた状態で、
送信機と受信機の両方をご発送いただきますようお願いいたします。

シリアルナンバー表示例

はじめに

EXT-DVI-1500HD は、光ファイバーケーブルと CAT5（CAT5e, CAT6）ケーブルを使用して DVI 信号を最大 500m まで延長することが可能です。（HDCP コンテンツの場合 100m）
光ファイバーケーブルのみでも使用できますが、DDC 信号や EDID データを必要とする場合、EDID Detective（EXT-DVI-EDIDN）を使用してください。

※光ファイバーケーブルは本製品に含まれておりません。LC コネクタータイプ 50 もしくは 62.5 μの 4 芯マルチモードファイバーケーブルを別途お求めください。
※ CAT5 ケーブルは本製品には含まれておりません。
CAT5 もしくは、CAT5e、CAT6 ケーブルを別途お求めください。

同梱品

EXT-DVI-1500HD 送信機	1
EXT-DVI-1500HD 受信機	1
DVIケーブル（1.8m）	1
電源アダプター	2

インストール

1. ソース機器のDVI出力端子とDVI-1500HD送信機のDVI入力端子をDVIケーブルで接続してください。
2. 光ファイバーケーブルとCAT5（CAT5e, CAT6）ケーブルをDVI-1500HD 送信機に接続してください。
3. 光ファイバーケーブルとCAT5（CAT5e, CAT6）ケーブルをDVI-1500HD 送信機に接続してください。

※送信機・受信機の光ファイバーケーブル入力端子の配列は違っています。
接続の際に記載されている記号を確認し、お間違えにならないようご注意ください。

4. 表示機器とDVI-1500HD 受信機をDVIケーブルを使用して接続してください。
5. 最後に付属の電源アダプターを送信機と受信機の電源コネクターに接続してください。

メモ

画像が表示されない場合、送信機・受信機に接続されている DVI ケーブルを再度接続し直してください。また、光ファイバーケーブルが交差して接続されていないか確認してください。

各部名称

送信機

① パワーインジケーター　：正常に通電しているときに点灯します。
② ステータスインジケーター　：正常に信号が認識できているときに点灯します。
③ ファイバーケーブル接続端子 ：LCタイプ光ファイバーケーブルを接続します。
④ DVI入力端子　：ソース機器と接続します。
⑤ RJ-45端子　：CAT5（CAT5e, CAT6）ケーブルを接続します。
⑥ 電源端子　：付属の電源アダプターを接続します。

受信機

⑦ パワーインジケーター　：正常に通電しているときに点灯します。
⑧ ステータスインジケーター　：正常に信号が認識できているときに点灯します。
⑨ 電源端子　：付属の電源アダプターを接続します。
⑩ RJ-45端子　：CAT5（CAT5e, CAT6）ケーブルを接続します。
⑪ DVI入力端子　：ソース機器と接続します。
⑫ ファイバーケーブル接続端子 ：LCタイプ光ファイバーケーブルを接続します。

仕様

ビデオアンプ帯域	：165MHz
最大対応解像度	：1080P/1920×1200
入力ビデオ信号	：1.2v p-p
DDC入力信号	：5vp-p(TTL)
DVI入出力端子	：DVI-I（29pin, Digital Only）
DDCリンクコネクター	：RJ-45
ビデオリンクコネクター	：LC
電源	：5V DC
消費電力	：36W（最大）
サイズ	：8.3D×10.8W×2.5H(cm)
重量	：2.3kg/台